



20240402

校長の戯言 ♪ No.5 ♪ SEISHUKAN あ・ら・かると



鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優

■新年度のスタート

令和6年度がいよいよスタートする。令和5年度に転出された非常勤を含めた13人の先生方には大変お世話になったところである。これから新天地での活躍を祈念したい。そして、令和6年度は13人の先生方が新しく赴任されることとなった。先生方はそれぞれの専門家であり、これまでの経験や豊富な知識をもっている。本校の教職員・生徒や地域の方々にとっても良き仲間として今後の活躍を期待したいと思う。詳細はホームページを参照していただきたい。



■美しい桜のなぞ



いよいよ春がやって来る。春と言えば、桜！桜は日本人に最も親しまれている花として、百円硬貨の表にデザインされている。本校の周りにもたくさんの桜が見られる。

桜の木は、花びらだけでなく、木全体で懸命になって最上のピンクの色になろうとする。花びらのピンクは幹のピンクであり、樹皮のピンクであり、樹液のピンクなのである。

桜は、全身で春のピンクに色づいていて、花びらはいわばそれらのピンクが、ほんの先端だけ姿を出したものにすぎない

のである。和服や洋服で桜の花のピンクの色をそのまま生かした桜染めというものがあるが、小枝や樹皮を材料として樹液を取り出して作られている。ピンクは、淡いようでいて、強さをうちに秘めて華やかで、しかも深く落ち着いている色になると言われている。そんな美しくもたくましい桜に囲まれながら新しい年度への幕開けが楽しみな時期でもある。

■新入生を迎える準備

いよいよ、4月9日（火）は入学式である。今年度は59人の生徒を迎える。教職員や在学生は新しい出逢いを大切にするために、学年、クラス担任、部活動等で歓迎の準備が着々と進められている。新入生を迎えるにあたって、敷地内や校舎内の環境整備を行い、学習教材や資料の準備に余念がない。新入生は9年間の義務教育を終え、自分の生活圏内から離れた地域へ登校する生徒が大半である。



通学への不安、専門科目など高校の学習に対する不安、部活動など課外活動への不安、そして最も不安なのは新しい友人との出逢いと人間関係の構築ではないだろうか。

そんな不安を抱えつつも新しい高校生活への期待と希望を胸に入学の準備をしているのではないか。私たちは少しずつ、一つずつ不安を解消してあげられるよう、更に生徒たちの期待に応えるべく、ハード面とソフト面の準備を丁寧に進めているところである。

